

梵漢對照菩薩地索引

宇井伯壽著

本書は、故荻原雲來博士校訂出版の

"BODHISATTVABHŪMI, a statement of whole course of the bodhisattva."

(1930~36)なる梵本と玄奘譯瑜伽師地論本地分第十五菩薩地とによる梵漢索引である。

この菩薩地は、これのみ梵本寫本が單獨に存し、支那でも菩薩地持經、菩薩善戒經として譯されている。また、大乘莊嚴經論がこの菩薩地を綱格として成立しているようであり、そういう事情から考えて、この梵文菩薩地は、瑜伽論成立史の研究にも、瑜伽唯識の思想史研究の上にも缺くべからざる重要性をもっている。その梵漢索引が出されたことは學界に益すること大きいものがある。

本索引の第一部は三百頁にわたつて、梵本全體の各頁から適宜に摘出せられた梵文に玄奘譯を對照し、更にその玄奘譯が梵文を參照して訓讀され、その上に現

代的な直譯文も出されている。これは、語尾の變化を表わすこと少なく、文の構成が梵文と一致し難い漢譯の、我々の讀解にとつて不便な性格を考慮して、正しい理解をなすために配慮された勞作である。

第二部單語編も約三百頁にわたたり一萬に近い語彙が收められている。名詞、形容詞は、大體語幹であらわされているが、動詞は現に梵文に存する形そのまま、すなわち、數、時、法、其他全て現梵文のままであり、併せて語根も添えられている。譯語は玄奘譯とともに、同義異語、その他の語義も示されて、漢譯の語から受ける漠然とした初歩者の語義に對する理解から救つて、正確に嚴密に取意でき、又、逆に漢譯の表現法の特徴、譯し方の巧妙さなどもまのあたりに知ることができる。更に、語彙の中には、相當數の合成語、イデオムも收まつていて、辭書的な役割りも充分に果すことができるようになっている。

このように梵漢索引がでた限りは、更に、漢梵、梵藏漢の索引が一日も早く出版せられることが望まれる。

西藏大藏經研究會出版・五九二頁・B 6 版、昭和三十六年十一月二十日發行、四〇〇〇圓 (澤田)

宿業と大悲

—三願轉入の考察—

廣瀬 杲著

本書の價值については、金子・正親兩先生の序言に、自らの課題が本書に依つて果し遂げられたと言われている點や、本書に依つて大谷大學の傳統する眞宗教學の純粹なあり方が世に問われたことになることと記されている點に、よく示されているであらう。

すなわち本書は、三願轉入の問題を中心に、生涯を賭けて教行信證を領解してゆこうとされる著者が、「本願を信じ念佛を申さば佛になる、そのほかなにの學問かは往生の要なるべきや」という歎異抄の精神によつて、眞宗教學の根本問題を追求せられたものであり、そこには寸分の曖昧さも許さない著者の酷しい自己批判と、教法社會への深い願いが、彫の深い精緻な文章でもつて著わされてい